

# 一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信  
令和7年 3月 21日 第39号  
発行;校長 村上謙一

## 【第78回卒業証書授与式を挙りました】

3月19日(水)、豊川市議会議員 今泉淳乙様、豊川市教育委員会庶務課長 杉浦忠彦様、学校運営協議会、サポーターの皆様を来賓としてお招きし、保護者と5年生の児童が見送る中、第78回卒業証書授与式を盛大に挙りました。卒業生99名が無事本校を巣立ちました。誠にありがとうございました。



卒業生は1~4年生の期間にコロナ禍を経験しました。登校の制限、マスクの着用、運動や歌唱の制限、旅行的行事の自粛、ソーシャルディスタンスの確保など、これまでの当たり前が通用しない大変困難な学校生活を味わいました。元気で気持ちの良いあいさつまでもが学校から失われたのは大変さみしいことでした。コロナという未知のウイルスが人の命を人質にとっていたと私は受け止めています。できるだけ、子供たちに普通の学校生活をしてもらいたいと、先生方、保護者、地域の大人は可能な限りの工夫をしました。みなさんはそんな状況の中で明るく学び続けました。この経験はきっと卒業生のたくましさとなって、今後の人生により影響を与え続けると信じています。

私は卒業生とは3年間の学校生活を共にしました。式辞でもお話ししましたが、大変やさしい行動が様々な場面で見られた卒業生でした。また、学習に取り組む姿勢も学年が上がるごとに立派になっていったことも印象的でした。まさしく、「かしこく やさしく たくましい」校訓どおりの立派な卒業生でした。

## 【芸術鑑賞会】



3月13日(木)、豊川高校吹奏楽部の皆さんをお招きし、全国レベルの演奏を全校で楽しみました。

## 【メタセコイヤの剪定について】



一西だより35号でお伝えしたメタセコイヤの剪定についてですが、市当局と業者に確認したところ、南海トラフ地震による倒木の可能性が大変低いことが分かりました。説明によると、現在は木の健康状態が非常に良く「A」判定とのことでした。また、剪定によって樹勢が弱ることが多く、かえって倒木の可能性が出てくること分かりました。したがって、剪定をやめ、現状のままとすることをお知らせいたします。

## 【最後のよみきかせ】

3月5日(水)、6年生にとっては最後のよみきかせとなりました。この日の給食配膳室ではドラマがありました。低学年の給食当番が給食のおさを数枚床に落としました。そこにいた6年生の当番が急いでそれを拾い、洗ってその当番に渡していました。それは当然のことのように振る舞われていました。よみきかせの日であったこともあり、よみきかせが子どもたちの心を耕していることを象徴しているかのように、私は感じました。



## 【6年生を送る会】



3月4日(火)、全学年が集まって、学校を引っ張ってくれたリーダーに、「ありがとう」の気持ちを伝えました。

## 【考えたことをみんなに伝えます】



2年生の授業では、自分の考えを、みんなにわかるよう、一生けんめいに説明して学びを深めていました。